

国語科 授業構想

平成26年10月10日(金) 5校時 2年1組教室
 2年1組(男子19名, 女子18名, 計37名)
 授業者: 教諭 小野純治

1 単元名 5 いにしえの心を訪ねる 扇の的 「平家物語」から

2 教材観

1年生で学習した, 音読で古典特有のリズムを味わうことを, 擬音語や擬声語などが用いられている「平家物語」を通してさらに深めていきたい。また, 与一の境遇や, 人々の戦いの現実と向き合う姿を読むことを通して, 登場人物の気持ちを想像させ, そのことについて自分の考えを持たせ, 現代でも共感できる思いがあることに気付かせたい。

3 生徒の実態

古文を読む上で, 歴史的仮名遣いや助詞の省略, さらに現代では使用されていない単語などに慣れていない生徒が多く, 音読をスムーズに行うことが困難な面が見られる。また, 生徒は概ね意欲的に学習をすることができるが, 積極性が時として落ち着かない雰囲気を作ることがある。そのため, 小グループの学習では会話の内容が枝葉末節に至らないよう注意する必要がある。

4 本時について

(1) 本時の学習 扇の的 「平家物語」から

(2) 本時のねらい

- ①扇の的に表れたものの見方や考え方に触れ, 与一の思いを想像する。【伝国ア(イ)】
- ②与一の言動や情景から, 与一の心情について感想を持ち, 交流することにより, 平家物語の世界観について自分なりの考えを広げる。【読むこと イ】

(3) 本時における「わかる生徒の姿」

平家物語の世界観を踏まえて, 与一の思いを想像する。また, 与一の気持ちを考えることについて, 交流を通して伝え合い, 聞き合うことで深める。

(4) 展開構想 ○→主な学習内容 ・→(予想される)生徒の反応 ①, ②→評価場面

学習ステップ	学習内容と予想される生徒の反応	指導上の留意点	わかり合いの態
導入	○本文を音読する。 ○扇の的の内容を確認する。 ・時代背景, 人物, 武士の生き様	平家物語の世界観を押さえさせる。	全体
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 扇の的の場面での与一の心情を考えよう。 </div>			
第1ステップ	○矢を放つまでの与一の気持ちを想像する。 ・強調されている表現 ・与一の立場 ・根拠となった場面	気持ちを想像するための視点を与える(表現・立場など)。 ①学習シート	個人
第2ステップ	○与一の気持ちを想像し, 交流する。 ・なぜ神仏に祈る気持ちになったのか。 ・扇を射落とす事にどのような意味があるのか。 ・平家物語の時代がどのような時代なのか。	事前に配布した平家物語の世界観を表す資料も参照する。 交流がスムーズに進むよう, 予め司会を決め, 進行を確認する。 ②学習シート	4人組
ラストステップ	○他の意見から自分の考えを深める。 ○活動の自己評価を行う。	②学習シート	個人